

PAT-NO: JP405032283A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05032283 A

TITLE: PACKING BAG FOR CUT FLOWER

PUBN-DATE: February 9, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YAMAGISHI, SATOMI  
AOYANAGI, NOBUO  
HIDAKA, KAZUHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

| NAME                      | COUNTRY |
|---------------------------|---------|
| DAINIPPON PRINTING CO LTD | N/A     |

APPL-NO: JP03199858

APPL-DATE: July 16, 1991

INT-CL (IPC): B65D085/00, A01G005/02 , A01G005/06 , B65D085/50

US-CL-CURRENT: 206/423

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide easy packing work to wrap cut flowers therein and capable of preventing water leakage therefrom.

CONSTITUTION: Agar 5 or a water-impregnated high water-absorbing resin is filled in the bottom part 4 of a plastic film made bag 3 having an opening

at  
the top. Cut flowers are inserted in the bag 3 from its top opening and bound up in a bundle by tying the upper part of the bottom part 4 with a string. In this way the cut flowers are supplied with water from the agar 5 or the water-impregnated high water-absorbing resin and there is no water leakage from a bunch of the cut flowers when it is turned upside down. As an alternative, a water-swelling material is attached to the inner surface of the bag near its bottom part and, after a liquid has been poured in the bag, the cut flowers are placed therein and the bag is then tied around the water-swelling material. In this way the water rises in the bag to swell the water-swelling material so as to prevent the water leakage.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-32283

(43)公開日 平成5年(1993)2月9日

| (51)Int.Cl <sup>5</sup> | 識別記号 | 序内整理番号  | F I | 技術表示箇所 |
|-------------------------|------|---------|-----|--------|
| B 6 5 D 85/00           | Z    | 8921-3E |     |        |
| A 0 1 G 5/02            |      | 8502-2B |     |        |
| 5/06                    |      | 8502-2B |     |        |
| B 6 5 D 85/50           | G    | 7445-3E |     |        |

審査請求 未請求 請求項の数3(全4頁)

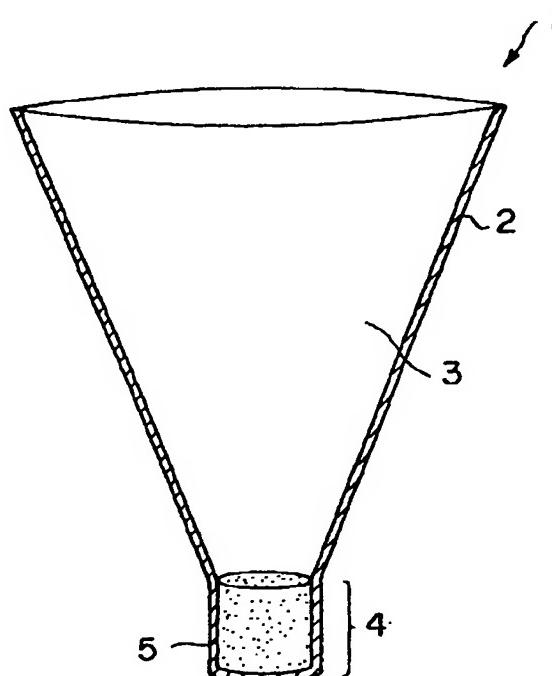
|          |                 |         |  |
|----------|-----------------|---------|--|
| (21)出願番号 | 特願平3-199858     | (71)出願人 | 000002897<br>大日本印刷株式会社<br>東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 |
| (22)出願日  | 平成3年(1991)7月16日 | (72)発明者 | 山岸 里美<br>東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号<br>大日本印刷株式会社内    |
|          |                 | (72)発明者 | 青柳 伸夫<br>東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号<br>大日本印刷株式会社内    |
|          |                 | (72)発明者 | 日高 和弘<br>東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号<br>大日本印刷株式会社内    |
|          |                 | (74)代理人 | 弁理士 土井 育郎                                    |

(54)【発明の名称】 切花用包装袋

(57)【要約】

【目的】 包装作業が簡単にできても水漏れを防止できる切花用包装袋を提供する。

【構成】 上部が開口したプラスチックフィルム製の袋本体3の底部4に寒天や含水状態の高吸水性樹脂を充填しておく。切花を袋本体3の上部開口から入れ、底部4の上の部分を紐等で結束して束ねた状態とする。切花には寒天や含水状態の高吸水性樹脂から水分が補給され、束ねたものが逆さまになっても水が漏れない。別形態のものは、袋本体の底部付近内面に水膨潤性材料を取り付けておき、液体を入れてから切花をいれて水膨潤性材料の回りを結束する。水位が上昇して水膨潤性材料が膨潤して水漏れを防止する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 上部が開口したプラスチックフィルム製の袋本体と、該袋本体の底部に充填された寒天とからなることを特徴とする切花用包装袋。

【請求項2】 請求項1記載の切花用包装袋において、寒天に代えて含水状態の高吸水性樹脂を用いたことを特徴とする切花用包装袋。

【請求項3】 上部が開口したプラスチックフィルム製の袋本体と、該袋本体の底部付近内面に取り付けられた水潤性材料とからなることを特徴とする切花用包装袋。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、切花を流通用に束ねる場合や束ねて小売用の花束を作成する場合に使用される切花用包装袋に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、切花を流通用として小分け状態で束ねる場合や束ねて小売用としての花束を作成する場合、複数本の切花をまとめてプラスチック製のフィルムでくるんだり、或いは、三角形の袋に入れて根元を束ねたりして包装することが行われている。そして、切花の鮮度を保持するために、通常は、束ねた切花の根元部分に含水状態の脱脂綿やガーゼなどを巻いたり、小型プラスチック容器に水を入れて根元をその中に差し込んだりするようにしている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の技術で述べた包装形態では、含水状態の脱脂綿やガーゼなどを根元に巻く作業に手間がかかったり、或いは、花束を逆さに持った時に小型プラスチック容器に入れた水が漏れてくるという問題点があった。

【0004】 本発明は、上記の問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、包装作業が簡単でしかも水漏れを防止できる切花用包装袋を提供することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明に係る第1形態の切花用包装袋は、上部が開口したプラスチックフィルム製の袋本体と、該袋本体の底部に充填された寒天とからなることを特徴としている。そして、上記の寒天に代えて含水状態の高吸水性樹脂を用いてよいものである。

【0006】 また、同様な目的を達成するために、本発明に係る第2形態の切花用包装袋は、上部が開口したプラスチックフィルム製の袋本体と、該袋本体の底部付近内面に取り付けられた水潤性材料とからなることを特徴としている。

## 【0007】

【作用】 上記第1形態の切花用包装袋を用いて花束を作

成するに際しては、束ねた複数本の切花が包装袋に挿入され、それらの根元部分が寒天或いは含水状態の高吸水性樹脂に密着させられる。そして、袋本体の底部より上の部分を外側から結束することで包装される。水分は寒天或いは高吸水性樹脂に保持され、漏れるのが防止される。

【0008】 上記第2形態の切花用包装袋を用いる場合には、まず包装袋の底部に水や栄養液が入れられた後、束ねた複数本の切花の根元部分が水や栄養液に漬かるようにして包装袋に挿入される。そして、水潤性材料の部分を外側から結束することで包装され、水位の上昇により水潤性材料が膨潤して漏れが防止される。

## 【0009】

【実施例】 図1は本発明に係る第1形態の切花用包装袋の一実施例を示す斜視図である。この切花用包装袋1は、下端に矩形状の凸部を有する逆三角形状をした2枚のプラスチックフィルムをその上部を残した状態で周囲をシール部2により接着して一体とした形状の袋本体3と、2枚のプラスチックフィルムの凸部により形成される袋本体3の底部4に充填された寒天5とから構成されている。なお、袋本体3は扁平状態で製袋されたものであるが、上部開口から寒天5が充填されて底部4がこの寒天5により膨らんだ状態となっている。

【0010】 袋本体3を形成する上記プラスチックフィルムとしては、ポリエチレン、延伸ポリプロピレン、無延伸ポリプロピレン、ナイロン、ポリエチレンテレフタレート等からなる樹脂フィルム、或いはこれらの樹脂フィルムを積層してなる積層フィルムが使用される。なお、シール部2をヒートシールにより接着する場合には、内面側に熱融着可能な樹脂を使用する必要がある。

【0011】 上記寒天4としては、寒天粉末を0.5～2.0重量%の割合で水に溶解して固めたものが使用されるが、0.8～1.2重量%が最も適当である。0.8重量%未満では流動性が大きくなつて包装袋1を反対向きにした場合に流れることがあり、逆に1.2重量%を越えると固くなりすぎて容器本体への充填作業が困難になる。

【0012】 本形態の切花用包装袋1においては、上記の寒天4の代わりに含水状態の高吸水性樹脂を使用してもよい。この高吸水性樹脂としては、デンプン・アクリル酸塩のグラフト重合体、カルボキシルメチルセルロース架橋体、ビニルアルコール・アクリル酸塩共重合体、ポリアクリルトリル加水分解物、架橋ポリアクリル酸塩、変性ポリビニルアルコール、アクリル酸塩・アクリルアミド共重合体、イソブチレン・無水マレイン酸共重合体等が使用される。

【0013】 上記構成からなる切花用包装袋1を用いて切花を包装するには、袋本体3の上部開口から束ねた状態の切花を複数本挿入し、切花の根元部分を寒天5或いは含水状態の高吸水性樹脂に突き刺すようにして密着さ

せる。そして、袋本体3の底部4より上の部分、すなわち寒天或いは高吸水性樹脂がある部分より上方を紐、ゴム、テープ等で結束して包装する。このようにして花束状に包装されたものにおいては、底部4に入れられた寒天又は高吸水性樹脂中の水分が切花に補給される。そして、水分は寒天或いは高吸水性樹脂に保持された状態となっているので、逆さまになんても漏れることがない。

【0014】図2は本発明に係る第2形態の切花用包装袋の一実施例を示す斜視図である。この切花用包装袋11は、下方が細くなった台形状の2枚のプラスチックをその上部を残した状態で周囲をシール部12により接着して一体とした形状の袋本体13と、この袋本体13の底部付近内面に取り付けられた水潤性材料14とから構成されている。なお、シール部12のうち底部はヒートシールで接着されており、残りの箇所は溶断シールで接着されている。したがって、底部のシール部12aはしっかりと接着されている。

【0015】水潤性材料14としては前記の高吸水性樹脂と同じものが使用される。この高吸水性樹脂をゴム系の材料（ブチルゴム等）に混合したものを作布するか、或いは、不織布に含浸させた状態で貼り付けるかして製袋前のプラスチックに加工しておき、図2に示すように、底部の少し上に位置するようにして製袋する。

【0016】上記構成からなる切花用包装袋11を用いて切花を包装するには、まず、図2に示すように、包装袋11の底部に水や栄養液の液体15を入れる。次いで、束ねた複数本の切花の根元部分が水や栄養液に漬かるようにして包装袋11に挿入する。そして、水潤性材料14の部分を結束して包装する。このようにして花束状に包装されたものにおいては、底部の液体15が切花に補給され、しかも、結束することで水位が上昇して、水潤性材料14が膨潤した状態となっているので、液体15は漏れることがない。

【0017】なお、本発明においては、切花用包装袋の上部開口から切花が入れられて花束状に包装されるので、袋本体の形状は上記実施例のようにほぼ逆三角形状であ

ることが好ましい。さらに、袋本体における底部には、寒天や含水状態の高吸水性樹脂、或いは水や栄養液を入れ、その上から切花の先端が挿入されるので、底部の形状はこれらが入りやすくなっていることが好ましいものである。

#### 【0018】

【発明の効果】本発明は、上述のとおり構成されているので、次に記載する効果を奏する。

【0019】請求項1及び請求項2の切花用包装袋は、10 プラスチックフィルム製の袋本体の底部に寒天或いは含水状態の高吸水性樹脂を充填しているので、切花を入れて束ねた場合にその根元部分に水分が供給されて切花は鮮度を保つことができ、しかも、束ねたものが逆さまになんて水分が流れ出ることがない。また、複数本の切花を収納して束ねるだけで、水分を補給する状態とすることができるので、従来のものに比べて包装作業を簡単に行うことができる。

【0020】請求項3の切花用包装袋は、プラスチック20 フィルム製の袋本体の底部付近内面に水潤性材料を取り付けているので、切花に合った液体を入れた後、切花を入れて単に結束するだけで、水潤性材料が膨潤して水や栄養液の漏れが防止されることから、水漏れのない包装を簡単に行うことができる。

#### 【図面の簡単な説明】

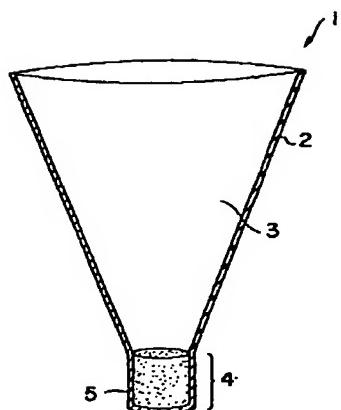
【図1】本発明に係る第1形態の切花用包装袋の一実施例を示す斜視図である。

【図2】本発明に係る第2形態の切花用包装袋の一実施例を示す斜視図である。

#### 【符号の説明】

- |    |           |
|----|-----------|
| 30 | 1 切花用包装袋  |
|    | 3 袋本体     |
|    | 4 底部      |
|    | 5 寒天      |
|    | 11 切花用包装袋 |
|    | 13 袋本体    |
|    | 14 水潤性材料  |

【図1】



【図2】

